

## 1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立倉敷青陵高等学校		
実践者等	青木将彦	実践日	令和3年11月10日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	数学Ⅰ		
対象生徒(学年等)	1年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	データの分析		
使用したアプリ等	統計ソフト(e-Stat)、スライド、Jamboard		
実践の概要(ねらい等)	2変量データの散布図を作成する。散布図を利用して、特徴的なデータを抽出し、要因を分析する。分析結果は、Jamboardにまとめ、クラス全体でシェアする。		
<b>実践の内容</b>			
<p>1 本時の目標【統計ソフト(e-Stat)を利用して、データを分析することができる】を確認する。</p> <p>2 【全体指導】「都道府県別の第2次産業就業率と失業率の相関関係」を分析する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計ソフト(e-Stat)を利用して散布図を作成し、相関係数を読み取る。</li> <li>・第2次産業就業率が高い都道府県の主な産業を調べ、失業率が低い要因を考える。また、第2次産業就業率が低い都道府県の主な産業を調べ、失業率との関連を考える。</li> <li>・「都道府県別の第1次産業就業率と失業率の相関係数」、「都道府県別の第3次産業就業率と失業率の相関係数」を予測し、散布図の作成を通して確認する。</li> </ul> <p>3 【課題学習】グループごとに次の6つの課題のうち1つを選択し、2変量データの分析を行う。</p> <p>「10万人あたりの交通事故発生率と横断歩道一時停止率」、「ゴミのリサイクル率の経年変化」、「学校の朝読書実施率(小中高全体と高校)」、「日照時間と降水量」、「公立学校の津波対策」、「魅力度ランキングの経年変化」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CSVファイルを読み込み、散布図を作成する。</li> <li>・相関係数を読み取り、傾向を分析する。</li> <li>・特徴的なデータを抽出し、情報検索ツールを利用しながら、その要因を調べる。</li> <li>・調査結果を「Jamboard」の付箋機能を使用してまとめる。</li> </ul> <p>4 グループごとに調査結果を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・散布図、「Jamboard」を活用する。</li> <li>・要点を分かりやすく、簡潔に説明する。</li> </ul> <p>5 まとめ</p> <p>調査結果をクラス内で共有することができるために、取り組まなかった課題について、散布図と「Jamboard」から概要を容易に確認することができた。また、プレゼンテーション力と課題分析力の向上に役立った。</p>			
			
参考となるHP等			